

文学部
ICHINOSE Kazuo
PROFILE
職名
文学部 文化財学科教授
学歴
関西大学文学部史学科卒業 (1979)
学位
博士(文学)(関西大学、2005)
所属学会
日本考古学協会 日本イコモス国内委員会
専門分野
考古学、博物館学

一瀬 和夫

いちのせ かずお

研究課題1●東アジアの古代墳墓の墳丘

研究課題2●古代以前の住居と船

研究課題3●考古学のハンズ・オン展示と活動

業 績

【著書】

『大王墓と前方後円墳』／吉川弘文館、2005年7月、単著。

『古墳時代のシンボル・仁徳陵古墳』／新泉社、2009年2月、単著。

『韓国の前方後円墳』／「葺石を有する前方後円墳」／社会思想社、1984年10月、共著。

『古市古墳群とその周辺』／「大形前方後円墳の築造計画とその施工―前方部増大を中心として」『陵墓について』／撰河泉文庫、第一法規、1985年11月、共著。

『原始・古代日本の墓制』／「墳丘墓」／同成社、1991年4月、共著。

『古墳時代の研究』／「周濠」／雄山閣出版、1992年4月、共著。

『「陵墓」から見た日本史』／「埴輪にみる陵墓研究」／青木書店、1995年11月、共著。

『古墳への旅―古代人のタイムカプセル再見―』／「古墳はどのように作られたか」『椿井大塚山古墳・古市古墳群・百舌鳥古墳群・平尾山千塚古墳群・磯長谷古墳群・五色塚古墳』／朝日新聞社、1996年8月、共著。

『歴史の文字―記載・活字・活版』／「銀象嵌銘鉄刀」／東京大学総合研究博物館、1996年9月、共著。

『はにわ人は語る』／「大王墓の埴輪生産」／山川出版社、1999年4月、共著。

『博物館概説』／「展示開発の技術」／関西大学出版部、2001年3月、共著。

『倭国と東アジア―日本の時代史2』／「倭国の古墳と王権」／吉川弘文館、2002年7月、共著。

『埴輪―考古資料大観4』／「畿内」『円筒埴輪』／小学館、2004年5月、共著、共編。

『王の墓と奉仕する人びと』／「古墳時代人の死生観」／山川出版社、2004年5月、共著。

『博物館学ハンドブック』／「博物館資料の製作」『資料・展示開発とハンズ・オン』／関西大学出版部、2004年5月、共著。

【学術論文】

「前方後円墳 墳丘の発達」／『関西大学考古学研究室開設参拾周年記念考古学論叢』、1983年3月、単著。

「方形周溝墓・方形台状墓 そして古墳―方形周溝墓の墳丘立面性を中心として―」／『末永先生米寿記念献呈論文集』坤、1985年6月、単著。

「前方後円墳丘の周溝掘削パターンと区画性―前方後円形成立に関する覚え書き―」／『古代学研究』第112号、1986年11月、単著。

「倭人船―久宝寺遺跡船材をめぐる―」／『横田健一先生古稀記念文化史論叢』、1988年3月、単著。

「大阪府久宝寺・加美遺跡の古式土師器の土器胎土に関する2・3の問題―井上巖氏の分析と奥田尚氏の砂礫観察の結果との比較を通して―」／『古代学研究』第116号、1988年3月、単著。

「終末期古墳の墳丘」／『網干善教先生華甲記念考古學論集』、1988年9月、単著。

「久宝寺・加美遺跡の古式土師器」／『大阪文化財論集』財団法人大阪文化財センター設立15周年記念論集、1989年11月、単著。

「古市古墳群における埴輪群の変遷―大型古墳を中心として―」／『究班 埋蔵文化財研究会15周年記念論文集』、1992年9月、単著。

「河内平野とその周辺の埴輪編年概観」／『古代文化』第44巻第9号、1992年9月、単著。

「La site de HASAMIYAMA, Localité de NASHIDA un exemple d’habitat du paléolithique supérieur au Japon.」／『L’Anthropologie, (Paris)』Tome 97、1993年、単著。

「博物館と歴史教育」／『関西大学博物館紀要』第3号、1997年3月、単著。

「古墳時代前期における円筒埴輪生産の確立」／『古代』第105号 早稲田大学考古学会、1998年8月、単著。

「近つ飛鳥工房―展示とハンズ・オン、アウトリーチを結びつけるための実験工房』／『展示学』第27号 日本展示学会誌、1999年5月、単著。

「古墳における設計モデルの時間幅」／『古代学研究』第150号、2000年9月、単著。

「畿内における大形前方後円墳の終焉と大型群集墳」／『究班Ⅱ 埋蔵文化財研究会25周年記念論文集』、2002年9月、単著。

「大王墓の移動現象と大型古墳群―首長系譜と古墳の規制』／『関西大学考古学研究室開設五拾周年記念 考古学論叢』、2003年12月、単著。

「河内平野変遷に関する覚書―北半の旧石器から古代像―」／『古代学研究』第169号、2005年6月、単著。

「4世紀末における河内平野の覇権移動前夜」／『喜谷美宣先生古稀記念論集刊行会』、2006年6月、単著。

「이른바 百濟系 横穴式石室墳墓 와 群集墳 의 형성」／『百濟研究』第47輯、2007年2月、単著。

「5世紀における古墳の年代―武器・武具の大量副葬・埋納を中心として―」／『古代武器研究』第9号、2008年1月、単著。

「古墳時代における木造船の諸類型」／『古代学研究』第180号、2008年11月、単著。

【国内学会発表】

「埴輪にみる死生観」／第42回歴博フォーラム「王の墓と奉仕する人々」(国立歴史民俗博物館)、2003年4月、単独。

「円筒埴輪の外面調整から」／第52回埋蔵文化財研究集会（大手前大学史学研究所）、2003年8月、単独。

「畿内の古墳と6世紀の西日本」／文部科学省オープン・リサーチセンター整備事業シンポジウム「東国古墳と6世紀の東アジア」(早稲田大学)、2006年12月、単独。

「牧野車塚古墳の再検討―墳丘測量調査の成果から―」／日本考古学協会第74回総会研究発表（東海大学）、2008年5月、共同。

「禁野車塚古墳の墳丘測量調査成果」／日本考古学協会第75回総会研究発表（早稲田大学）、2009年5月、共同。

【ワークショップ】

「博物館を活用した授業改善の工夫」／博物館を活用した授業づくり、キャリアアップ講座（福岡県教育センター）、2002年8月、単独。

「ストローで丈夫な建物を作ろう」公開講座夏休み学習教室2005体験博物館（京都大学総合博物館）、2005年8月、共同。

【その他】

<監修>『調べ学習日本の歴史2 古墳の研究』／ポプラ社、2000年4月、単独。

<書評>「都出比呂志著『前方後円墳と社会』」／『考古学研究』第53巻第2号、2006年9月、単著。

<一般記事>「大阪府の博物館統廃合案はひとまず、見送りに」／『ミュゼ』第85号、2008年7月、単著。

<講演>「百舌鳥への招来―渡来手工業生産の展開』／第1回百舌鳥古市古墳群講演会『百舌鳥野の幕開け―大王墓築造開始の謎に迫る―』、2010年3月、単独。

<講演>「博物館危機の時代について―大阪府立博物館群の話題を中心に」／平成22年度全国博物館講座協議会全国大会『博物館危機の時代と大学の学芸員課程』、2010年6月、単独。